



地域の話題



市内の気になる話題をご紹介します。

11/18 みんなで踏ん張れるまち、中原！相撲大会を開催！

地域づくりに積極的に取り組む中原地区で、地域づくり団体「七色の里プロジェクトなかはら」が主催する、相撲大会が開催されました。出場力士は、我こそはと集まった小学生から大人までの地元の皆さん。元中日ドラゴンズの和田一浩さんがサプライズで登場。和田さんが務める行司の進行で熱い戦いが繰り広げられ、たくさんの観客の声援と笑いが会場を包み込みました。



待たなしの真剣勝負を繰り広げる力士と優しく見守る行司の和田さん＝焼石、中原小学校体育館

11/25 地域住民がおもてなし 各世代みんなでふれあう

地域おこしのために活動する上原プロジェクト主催の「上原マルシェ・お米づくり体験～秋の収穫祭～」が開催されました。

上原で作った新米おにぎりの振る舞いや子ども服などのリサイクル交換会、ワークショップ、餅つき・花餅づくり体験などの盛りだくさんの催しで、来場者は思い思いに楽しみ、地域の交流を深めました。



自分たちで小物が作れるワークショップに参加する親子＝門和佐、上原公民館

11/25 仲間へ励ましの声とともに たすきをつなぐ

下呂市体育協会主催の「第64回益田駅伝大会・第45回下呂市ジュニア駅伝大会」が開催され、一般男子・女子、中学男子・女子の部門で合わせて34チームが参加しました。

羽根中央公民館を発着点とし、男子は6区18キロ、女子は5区12キロのコースで懸命にたすきをつなぎ、白熱したレース展開をする選手たちに、沿道から温かい声援が送られました。



スタートの合図で勢いよく走り出す選手＝萩原町羽根、羽根中央公民館前

12/3 クリーンセンター焼却炉 新1号炉の火入れ式を開催

下呂市クリーンセンターの新しいゴミ焼却炉1号炉が11月に完成し、火入れ式が開かれました。新1号炉は試運転や性能試験を行った後、おとし11月から稼働している新2号炉とともに、今年4月から新炉2基での本格稼働となります。新焼却炉は2基合わせて、1日60トンのごみ処理能力があり、災害廃棄物やし尿・下水道汚泥も併せて処理できる施設に生まれ変わります。



火入れ式であいさつをする市長と火入れが行われた炉内を映し出すモニター＝小川、クリーンセンター